

千葉市美術館企画展「没後60年 きたおおじろさんじん 北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—」を開催します ～伝説のマルチアーティスト・北大路魯山人のやきものが一堂に～

千葉市美術館では、企画展「没後60年 北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展では、生活を巡る様々な分野で活躍し、今なお伝説的に語り継がれるマルチアーティストである北大路魯山人の陶芸を中心に、昭和陶芸から古陶磁まで名品約200点が一堂に会します。

開催にあたりまして、7月2日（火）14：00から記者の皆さまへの披露説明会、同日16：00からオープングレセプションを実施しますので、ぜひ取材にお越しくください。

1 会期 令和元年7月2日（火）～8月25日（日）
※休館日 8月5日（月）

2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催 千葉市美術館、東京新聞

4 ポイント ◆伝説の芸術者、魯山人の作品約120点を一挙展示

今もなお名料亭として語り継がれる「ほしがおかきりょう星岡茶寮」を舞台に活躍し、書や陶芸、絵画、料理など様々な分野で才能を発揮した稀代のマルチアーティスト・北大路魯山人。「料理の着物」としてつくられた膨大な数のやきものの中から選びぬかれた約120点の作品を通して、魯山人が何者であったのかを知る機会となります。

◆魯山人を取り巻くやきもの名品が一堂に

大正から昭和にかけて、桃山時代の陶磁器に注目が集まったほか、中国大陸や朝鮮半島のやきものが再発見され、古典復興の動きが強まりました。陶芸界においてルネサンスともいえるこの時代を牽引した魯山人のほか、川喜田半泥子、荒川豊蔵といった同時代の陶芸家たちの作品と、古陶磁の名品を含む総点数202点が一堂に会します。

5 観覧料 一般 1,200円（960円）、大学生 700円（560円）
☆ごひいき割引…本展チケット（有料）半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料2割引。

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※（ ）内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。

※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン（セブンチケット）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて7月1日まで販売。

6 同時開催 所蔵作品展「やっぱり素敵な人だった—てしがわらそうふう むなかたしこう勅使河原蒼風と棟方志功の作品を中心に—」

- 7 関連イベント 展覧会に関連して、講演会やワークショップなどを開催。
- 8 その他 本展のチラシ別添

「没後60年 北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—」披露説明会 開催概要

日時 7月2日(火) 14:00から
場所 千葉市美術館 10階会議室
内容 展示作品をご覧いただき、主な展示作品の見所などを担当学芸員からご説明いたします。

「没後60年 北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—」オープングレセプション

日時 7月2日(火) 16:00から
場所 千葉市美術館 11階講堂
内容 来賓の方々とともに展覧会の開催を記念するオープングレセプションを開催します。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 ^{わらしな} 藁科英也
広報担当 磯野 愛
〒260-0013 中央区中央3-10-8
電話 043-221-2311
FAX 043-221-2316
E-Mail isono@ccma-net.jp